

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【公開番号】特開 2018-206560 (P2018-206560A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-109468 (P2017-109468)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/48 (2010.01)

H 0 1 M 4/36 (2006.01)

H 0 1 M 4/485 (2010.01)

H 0 1 M 4/38 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 4/48

H 0 1 M 4/36 C

H 0 1 M 4/36 E

H 0 1 M 4/485

H 0 1 M 4/38 Z

H 0 1 M 4/36 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 13 日 (2019.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 8】

次に、溶媒、エチレンカーボネート (E C) 及びジメチルカーボネート (D M C) を混合した後、電解質塩 (六フッ化リン酸リチウム: L i P F₆) を溶解させて電解液を調製した。この場合には、溶媒の組成を体積比で E C : D M C = 3 0 : 7 0 とし、電解質塩の含有量を溶媒に対して 1 m o l / k g とした。4 - フルオロ - 1 , 3 - ジオキソラン - 2 - オン (F E C) は電解液作製後に 2 % 添加した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 3】

(実施例 1 - 2、1 - 3)

リチウムの挿入量を変化させたこと以外は、実施例 1 - 1 と同様に、二次電池の製造を行った。実施例 1 - 2 は実施例 1 - 1 よりもリチウムの挿入量を増やし、実施例 1 - 3 では、実施例 1 - 1、1 - 2 よりもさらにリチウムの挿入量を増やした。リチウムの挿入量は、例えば、溶液 C への浸漬時間を長くしたり、溶液 C 中のリチウムの添加量を増やすなどしたりすることで増やすことが可能である。また、攪拌機構を変化させ S i の価数調整を行った。